

紀の川市 子ども・子育て支援に関する調査

小学校入学前のお子さんの保護者さま用



保護者の皆さまへ

平素は、紀の川市政にご協力いただきまして、ありがとうございます。

紀の川市では、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、2020年度から5年間を期間とする「第2期紀の川市 子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」をうかがい、計画に反映するために行うものです。

今回、この調査票にご協力いただく方は、市内にお住まいの小学校入学前のお子さんの中から選ばせていただいております。

調査結果は、すべて統計的に処理され、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。また、ここで回答していただいた内容（施設やサービスの利用希望等）は、施設やサービスの具体的な利用の可否を確認・決定するものではありませんので、現在の率直なご希望やご意見をご記入ください。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2018年11月 紀の川市長 中村慎司

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答方法には、選択肢に○を付けていただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、ご注意ください。
- 「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特に、ことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

回答期限：2018年 ●月●日

提出方法：同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

紀の川市 こども課
TEL 0736-77-0863

お住まいの地域についておうかがいします。

問1 お住まいの地区をお答えください。(1つに〇)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 打田地域 | 3. 那賀地域 | 5. 貴志川地域 |
| 2. 粉河地域 | 4. 桃山地域 | |

お子さんとご家族の状況についておうかがいします。

問2 宛て名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字で記入)

平成	年	月生まれ
----	---	------

問3 お子さんのきょうだいは、ご本人を含めて何人ですか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月もご記入ください。(数字で記入)

きょうだい数	人	末子の生年月	平成	年	月生まれ
--------	---	--------	----	---	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛て名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに〇)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに〇)

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 3. 主に父親 | 5. その他 () |
| 2. 主に母親 | 4. 主に祖父母 | |

お子さんの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問7 宛て名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 父母ともに | 4. 祖父母 | 7. 認定こども園 |
| 2. 母親 | 5. 幼稚園 | 8. その他 () |
| 3. 父親 | 6. 保育所 | |

問8 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問8-1 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問8-2 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問9へ |

問8で「1.」または「2.」に〇をつけた方のみ

問8-1 お子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8で「3.」または「4.」に〇をつけた方のみ

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

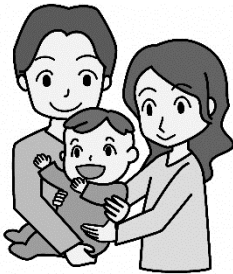
問9 宛て名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。
(1つに〇)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問9-1へ | 2. いない/ない ⇒ 問10へ |
|------------------|------------------|

問9で「1. いる／ある」に○をつけた方のみ

問9-1 お子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童館等）
5. 保健所・保健福祉センター
6. 子育て世代包括支援センター（はぐくみサポート紀の川）
7. 保育士、幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口（紀の川市こども課等）
11. その他 【例】ベビーシッター等（ ）



子育て世代包括支援センター「はぐくみサポート紀の川」とは？

- 助産師や保健師が、妊娠中の出産に関する不安、産後の育児や授乳の方法、赤ちゃんとの接し方など、妊娠から子育てに関する相談を受けています。
- 必要に応じて医療機関や保育施設等と連携して、妊娠、出産、子育てにおける切れ目ない支援を行っています。

問10 子育てや教育をする上で、行政からどのようなサポートを希望しますか。（○はいくつでも）

1. 妊婦や新生児の健康診断や相談
2. 経済的な支援（医療費の支給、子ども手当、保育料軽減など）
3. 子どもの学力の向上
4. 子どもの健康や体力の向上
5. 道徳や公共心の育成
6. 子どもの悩みなどに対する支援（カウンセリングなど）
7. 親に対する育児支援（保育サービスや相談など）
8. 子どもの遊び場や居場所の整備
9. 子どもの交通安全や防犯対策
10. 子どもの非行防止
11. いじめや児童虐待の防止
12. その他（ ）

保護者の方の仕事の状況についておうかがいします。

問 11 お子さんの保護者の方の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）と1年以内にどうしたいか（希望）をうかがいます。（それぞれ1つに○）

※ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。（以下、同）

		フルタイムで働いている （働きたい）	パートタイムなどで働いている （働きたい）	専業主婦（夫）
①現在の状況	父親	1	2	3
	母親	1	2	3
②1年以内の希望	父親	1	2	3
	母親	1	2	3

「パートタイムなど」と答えた方は、1日の勤務時間と1週間の勤務日数（現状と希望）を数字でご記入ください。

①-1 現在の勤務状況	父親	1日（ ）時間	週（ ）日
	母親	1日（ ）時間	週（ ）日
②-1 希望の勤務状況	父親	1日（ ）時間	週（ ）日
	母親	1日（ ）時間	週（ ）日

問 12 昨年（2017年）のあなたの世帯の家族全員の収入の合計額（手取り収入）をお答えください。（1つに○）

※単身赴任などのために一時的に別居している方も含みます。
 ※収入は、税金や社会保険料を払った後の額でお答えください。
 ※株式配当などの副収入、公的な援助・手当や養育費・仕送りを含めて合計してください。

1. 50万円未満	10. 450～500万円未満	19. 900～950万円未満
2. 50～100万円未満	11. 500～550万円未満	20. 950～1,000万円未満
3. 100～150万円未満	12. 550～600万円未満	21. 1,000～1,100万円未満
4. 150～200万円未満	13. 600～650万円未満	22. 1,100～1,200万円未満
5. 200～250万円未満	14. 650～700万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
6. 250～300万円未満	15. 700～750万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
7. 300～350万円未満	16. 750～800万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
8. 350～400万円未満	17. 800～850万円未満	26. 1,500万円以上
9. 400～450万円未満	18. 850～900万円未満	

平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況についておうかがいします。

問 13 宛て名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用されていますか。(1つに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問 13-1 宛て名のお子さんが、現在、定期的に利用しているサービスと、今後利用したいサービスは何ですか。「現在」と「今後」の枠内に○をつけてください。
(○はいくつでも)

※これらのサービスは 2019 年 10 月より無償化（一部条件あり）の予定です。その前提でお答えください。

サービス	内 容	現在↓ (利用中)	今後↓ (希望)
1. 幼稚園	通常の就園時間の利用	○	○
2. 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち定期的な利用のみ	○	○
3. 公立の認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの（公立）	○	○
4. 私立の認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの（私立）	○	○
5. 認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	○	○
6. 小規模な保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員が概ね 6～19 人のもの	○	○
7. 家庭的保育	保育者の家庭等で 5 人以下の子どもを保育するサービス	○	○
8. 事業所内保育施設	企業や病院が主に従業員用に運営する施設	○	○
9. 企業主導型保育施設	一定の条件を満たした企業（複数共同も可）が設置し、地域の子どもなどを受け入れる施設	○	○
10. その他の認可外の保育施設 (託児所等を含む)		○	○
11. 居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するサービス	○	○
12. ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かるサービス	○	○
13. その他 ()		○	○

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育のサービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(数字で記入)

※時間は、必ず 24 時間制でご記入ください。(例/×午後 6 時 ⇒ ◎18 時)

現在の利用状況	希望する利用状況
1 週当たり () 日	1 週当たり () 日
1 日当たり () 時間	1 日当たり () 時間
() 時～() 時	() 時～() 時

問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問 13-3 平日に定期的に教育・保育のサービスを利用している理由はなんですか。(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. (子育て・教育をしている方が) 現在就労している
3. (子育て・教育をしている方が) 就労予定がある/求職中である
4. (子育て・教育をしている方が) 家族・親族などを介護している
5. (子育て・教育をしている方が) 病気や障がいがある
6. (子育て・教育をしている方が) 学生である
7. その他 ()

ここから問 14-6 までは公立の認可保育所を利用している方(問 13-1 で「3. 公立の認可保育所」の利用中に○をつけた方)のみ

問 14 どのような動機で、いまの保育所を選びましたか。(○はいくつでも)

1. 自宅に近いから
2. 職場に近いから
3. 公立だから
4. 見学してよかったから
5. 子育ての環境が整っているから
6. 経験豊富な保育士に子どもを預けられ、安心できる保育所だから
7. 知人・友人から勧められたから
8. 保育士の評判がよかったから
9. 上の子どもを通園させてたから
10. その他 ()

問 14-1 公立保育所に大事にしてほしいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 地域の文化や伝統とのふれあいを通じて、郷土に対する愛情を育てほしい
2. 集団による遊びなどを通じて社会性や規範性を身につけてほしい
3. 友だちを多くつくることによって、仲間意識を醸成してほしい
4. 健康な身体づくりや、歯みがき、手洗いなどの生活習慣をつけてほしい
5. 発達に応じた保育を取り入れてほしい
6. 音楽、絵画や、小学校に入ってもすぐ役立つことばや数などの教育をしてほしい
7. 親と保育士とのコミュニケーションを密にしてほしい
8. その他 ()

問 14-2 公立保育所の運営について、どのような改善が必要だと思いますか。(1つに○)

1. 保育所運営には、さらにお金をかけて、環境を整備すべき
2. 経験年数などバランスのとれた保育士の配置を考慮していく必要がある
3. ゆとりをもった保育ができるよう、保育士の増員配置が必要
4. 延長保育、一時保育、休日保育など、メニュー提供を検討する必要がある
5. 現状のままでよい
6. その他 ()

問 14-3 お子さんが通園している保育所施設について、当てはまるものは次のどれですか。(1つに○)

1. 現状のままでよい ⇒問 14-4へ
2. 改築、建替が必要 ⇒問 14-5へ
3. わからない

問 14-3で「1. 現状のままでよい」に○をつけた方のみ

問 14-4 現状のままでよい理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. いまの施設で満足している
2. 保育に支障がない
3. その他 ()

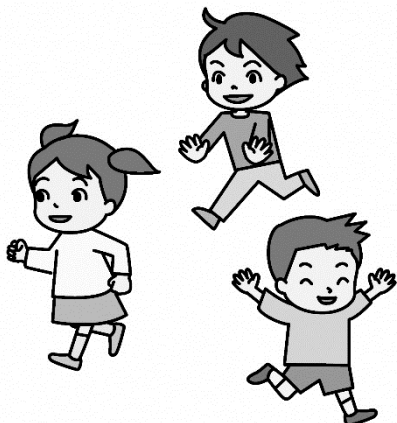
問 14-3で「2. 改築・建替が必要」に○をつけた方のみ

問 14-5 改築、建替が必要と思う理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 施設が老朽化しているから
2. 耐震性(大地震等で倒壊の恐れ)が心配だから
3. 園児や環境に配慮した建物とすべきだから
4. その他 ()

問 14-6 お子さんが通園している公立保育所の園児の数は、適正規模だと思いますか。(1つに○)

1. 適正規模である
2. 子どもの数が多く、適正と思えない
3. 子どもの数が少なく、適正と思えない
4. その他 ()



問 19 下記の①～⑨それぞれについて、A～Cのそれぞれにお答えください。
 (A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○)

	A	B	C
	知っている	これまでに 利用したこと がある	今後 利用したい
①桃山／那賀／レイモンド 子育て支援センター	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②赤ちゃん広場／子育て教室	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③保健保健センター(保健師)の情報・ 相談事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④子育て世代包括支援センター (はぐくみサポート紀の川)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤家庭児童相談室(こども課内)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥保育所や保育園の園庭等の開放	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦教育相談員／スクールカウンセラー	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑧ファミリー・サポート・センター (そらまめサポート)	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑨和歌山県子ども・女性・ 障害者相談センターの相談事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

※⑦教育相談員、スクールカウンセラーは、市内各小中学校で相談事業を行っています。

⑧ファミリー・サポート・センターは、紀の川市では「いわで・きのかわファミリー・サポート・センター」(そらまめサポート)として実施しています。

土曜・休日や長期休暇中の教育・保育サービスの利用希望についておうかがいします。

※教育・保育サービスとは、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などを指します。
 5 ページ問 13-1 の表をご参照ください。

問 20 土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービス利用の希望はありますか。
 (それぞれ 1 つに○)
 希望がある場合は利用したい時間帯(24 時間制)をお答えください。(数字で記入)

	希望	利用したい時間帯
(1) 土曜日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	() 時から () 時まで
(2) 日曜・祝日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	() 時から () 時まで

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方のみ

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 () |
|---|

定期的に教育・保育のサービスを利用していると答えた保護者の方 (問 13 で 1 に○をつけた方) のみ
【利用していらない方は、問 22 へ】

問 21 この 1 年間に、お子さんが病気やケガでサービスが利用できなかったことはありますか。(いずれかに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. あった ⇒ 問 21-1 へ | 2. なかった ⇒ 問 22 へ |
|-------------------|------------------|

問 21-1 お子さんが病気やけがでサービスが利用できなかった場合に、どう対処しましたか。

(○はいくつでも)

○をつけたものは、それぞれの日数もお答えください (数字で記入)

※半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください

過去 1 年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	日
2. 母親が休んだ	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他 ()	日

問 21-1 で「1.」「2.」のいずれかに回答した方のみ

問 21-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

(1 つに○)

また、何日くらい利用したいと思いましたか。(数字で記入)

- | |
|---|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ () 日 ⇒ 問 21-3 へ |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 21-4 へ |

問 21-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方のみ

問 21-3 上記の目的で子どもを預ける場合、どんな形が望ましいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する
(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 () |
|---|

問 21-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方のみ

問 21-4 そう思う理由をお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域のサービスの質に不安がある
3. 地域のサービスの利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他 () |
|--|

不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします。

問 22 日中の定期的な利用以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している教育・保育サービスはありますか。(○はいくつでも)
○をつけたものは、1年間の利用日数(おおよそ)をお答えください。(数字で記入)

利用しているサービス・日数(年間)	
1. 一時預かり(保育所などで一時的に子どもを保育するサービス)	日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち不定期的に利用する場合のみ)	日
3. ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」 (地域住民が子どもを預かるサービス)	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護するサービス)	日
5. ベビーシッター	日
6. その他 ()	日
7. 利用していない	

問 24 この1年間に、保護者の用事により、お子さんを、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(番号は1つに○、記号はいくつでも○) 預けた場合は、それぞれの日数もお答えください(数字で記入)

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護するサービス)	泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他()	
2. なかった		

問 24 で「1. あった ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方のみ

⇒ア. 以外を選択した方は 問 25 へ

問 24-1 その場合の難しさはどの程度でしたか。(1つに○)

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします。(お子さんが5歳以上の方)

⇒ お子さんが5歳未満の方は、問 28 へ

問 25 お子さんが小学校に上がったら、放課後の時間を、どこで過ごさせたいですか。(○はいくつでも) 希望
する週あたり日数と時間(24時間制)もお答えください。(数字で記入)

(1) 低学年(1~3年生の間)

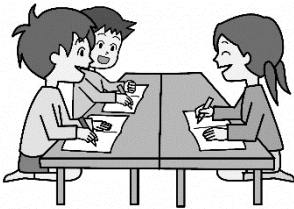
1	自宅	週()日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週()日くらい
4	児童館 ※1	週()日くらい
5	放課後子ども教室	週()日くらい
6	放課後児童クラブ〔学童保育〕	週()日くらい ⇒下校時から ()時まで
7	ファミリー・サポート・センター(そらまめサポート)	週()日くらい
8	その他(図書館、公園など)	週()日くらい

※1 「粉河児童館」、「竜門児童館」「西井阪児童館」を利用の場合。

(2) 高学年（4～6年生の間）

1	自宅	週（ ）日くらい
2	祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4	児童館 ※1	週（ ）日くらい
5	放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6	放課後児童クラブ〔学童保育〕	週（ ）日くらい ⇒下校時から （ ）時まで
7	ファミリー・サポート・センター（そらまめサポート）	週（ ）日くらい
8	その他（図書館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 「粉河児童館」、「竜門児童館」「西井阪児童館」を利用の場合。



「放課後児童クラブ」とは？

学童保育などと呼ばれることもあります。保護者が昼間、仕事などで家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 25 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

問 26 土曜日と日曜日・祝日、または夏休みや冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（それぞれ1つに○）
また、利用したい時間帯（24 時間制）をお答えください。（数字で記入）

	希望	利用したい時間帯
(1) 土曜日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	（ ）時から （ ）時まで
(2) 日曜・祝日	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	（ ）時から （ ）時まで
(3) 夏休み・冬休み など長期休暇中	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	（ ）時から （ ）時まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についておうかがいします。

問 27 宛て名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない →問 27-1へ	3. 取得していない →問 27-1へ

問 27 で「3. 取得していない」と答えた方のみ

問 27-1 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. (取得したら) 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった(配偶者が家にいる、祖父母や親族にみてもらえるなど)
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場(自営業、農業等含む)に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、仕事を辞めた
15. その他()

問 27-2 以下の制度をご存じですか?(1つに○)

- ①お子さんが1歳(一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業が取れる
- ②満3歳になるまでの育児休業等の期間は健康保険や厚生年金保険の保険料が免除になる

1. 育児休業、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業、保険料免除のいずれも知らなかった

問 27 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方のみ

⇒ 該当しない方は、問 28 へ

問 27-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

問 27-3で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 27-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

※①年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合
 ②年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合
 …いずれも「1.」を選択してください。

問 27-5 お子さんが何歳何ヶ月のときに育児休業から職場に復帰しましたか。また、何歳何ヶ月まで取りたかったですか(希望)。(数字で記入)

(1) 母親			(2) 父親		
実際の取得期間	歳	ヶ月	実際の取得期間	歳	ヶ月
希望	歳	ヶ月	希望	歳	ヶ月

問 27-5で実際の復帰と希望が異なる方のみ

問 27-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (○はいくつでも)

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (○はいくつでも)

(1) 母親	(2) 父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問 27-3で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 27-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 利用する必要がなかった	1. 利用する必要がなかった
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

問 27-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」と回答した方のみ

問 27-8 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。
(○はいくつでも)

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい 雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の 優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の 優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度 を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、子どもをみってくれる人が いた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみて もらえるなど、子どもをみってくれる人が いた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを 知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを 知らなかった
10. その他 ()	10. その他 ()

問 27-3で、「2. 現在も育児休業中である」と回答した方のみ。

問 27-9 お子さんが1歳になるまで必ず預けられるサービスがあればどうしますか。
(それぞれ1つに○)

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい (家庭で育てたい)	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい (家庭で育てたい)
2. 1歳になる前に職場復帰したい (預けたい)	2. 1歳になる前に職場復帰したい (預けたい)

